

令和4年度「もうかる」「誇れる」共に創る農林水産業セミナー 開催要領 ～農業を起点とした地域活性化について考える～

1 目 的

東日本大震災から11年が経過し、復興が着実に進む一方、農業従事者の減少や高齢化による担い手不足がより深刻化しており、遊休農地の増加など、地域の農業生産力の低下が課題となっている。

このような状況の中、地域資源を活かした多角的な事業展開を行う地域商社型事業体や総合的な事業を行う地域運営組織（RMO^{*1}）の形成により、農村における所得や雇用機会の確保が促進される等、農業を起点とした地域づくりの動きが全国的に見られる。

そこで、これらの取組に対する議論を深めるため、県内の地域商社型事業体及び地域運営組織を代表する講師を招待し、農村における地域活性化をテーマとしたセミナーを開催する。

2 開催日時

令和4年8月22日（月） 13:30～16:00

3 開催場所

杉妻会館4階牡丹（福島県福島市杉妻町3-45）

※オンライン（Zoom）併用

4 対 象

農林漁業者、農林水産業関係団体、市町村、福島県食品産業協議会会員、県 等

（会場定員：50名程度）

5 内 容

講演1

「会津産落花生を活用した多角的経営と地域活性化」

講師 株式会社オクヤピーナッツジャパン 代表取締役 松崎健太郎 氏

講演2

「地域運営組織による農業を起点とした地域づくり」

講師 ^{みねゆいのむら}見祢結乃村未来協議会 事務局長

兼 ^{ゆいのむらのうがくだん}農事組合法人結乃村農楽団 事務局長 小板橋敏弘 氏

6 主 催

福島県

- ※1 地域住民にとって必要不可欠であるものの単独では必ずしも採算性を有しない事業も含め、総合的な事業を展開する事業体。特に農村型地域運営組織の場合、複数集落による集落協定や、農業法人などの農業者を母体とした組織が、自治会、町内会、社会福祉協議会などの多様な地域関係者と連携して協議会を設立し、「農用地の保全」「地域資源の活用」「生活支援」の3つの事業に取り組む。[出典：農林水産省農村振興局「地域運営組織をめぐる情勢」など]